

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年1月25日

施設名	高知城歴史博物館	所管課	文化生活スポーツ部歴史文化財課
-----	----------	-----	-----------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(公財)土佐山内記念財団	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所在地	高知市追手筋二丁目7番5号		
事業内容	旧土佐藩主山内家に伝来した山内家資料を核として、近世から近代までに至る高知の歴史文化に関する資料等を保存し、調査研究し、展示し、及び教育普及に活用することにより、県民文化の振興に寄与するとともに、県内の文化施設及び地域と連携し、歴史及び文化による交流を支援することにより、地域振興及び観光振興に寄与する。		
施設内容	<建物> 延床面積6220.56㎡ SRC造地上3階建 <土地> 3,983.4㎡ <主要施設> 常設展示室、企画展示室、資料閲覧室、ホール、和室、実習室、喫茶室、収蔵庫、燻蒸室、研究室など <開館時間> 午前9時～午後6時(日曜日は午前8時～午後6時) <休館日> 12月26日～12月31日 <主な料金> 常設展 500円 企画展 700円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料 施設利用料 ホール 27,580円 実習室 17,570円 和室 20,720円		
職員体制	常勤職員:16人 契約職員:9人 嘱託職員:2人 合計:27人		

※職員数は令和3年4月1日現在

## 2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	269,285	290,506	281,845
	事業収入	14,352	23,709	36,135
	その他	7,252	0	1,849
	収入計(a)	290,889	314,215	319,829
支出	事業費	289,040	314,215	319,829
	(うち人件費)	(156,902)	(168,299)	(151,985)
	その他			
	支出計(b)	289,040	314,215	319,829
収支差額(a)-(b)		1,849	0	0

## 3 利用状況

		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)		前年度比
① 年間利用者数 合計 (単位:人)	常設展	4,819人	常設展	7,854人	+ 3,035人	
	企画展	29,611人	企画展	44,984人	+ 15,373人	
	合計	34,430人	合計	52,838人	+ 18,408人	
	<利用実績> ・コロナウイルス感染症の影響は収まってきたが、観覧者数は目標を下回った(目標人数:85,000人、達成率:約62.2%)。					

② 利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期:年間(令和4年度)</li> <li>・方法:館内の数か所にアンケートボックス・タブレットを設置</li> <li>・回答数:2,345件</li> <li>・調査結果公表:公表せず</li> </ul>
	○ 利用者意見等を踏まえた対策
	<p>アンケート等で寄せられた利用者の意見を検討し、下記の改善を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重ね押しスタンプの押す方向を大きく矢印で書いておくこと観光客にわかりやすくないか →担当者が掲示物を貼り、対応した</li> <li>・アンケート等記載場所に老眼鏡があればいい →アンケート台に老眼鏡を設置した</li> <li>・すべてに英語の音声ガイドがなく、いくつか「見つかりません」だった →英語対応のない音声ガイドに「Japanese only」の表記をつけた</li> </ul>
	○ その他
③ その他特記事項	

#### 4 年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物・設備の管理については、事前に修理を行い、観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されたと認められる。</li> <li>・消防計画に沿った館内組織体制を職員に周知するとともに、関連のマニュアル等を常時、職員の見える位置に掲示している。</li> <li>・収蔵庫及び展示環境が安定的に公開承認施設の基準値内に保たれており、年度内に公開承認施設の承認を受けることができた。</li> </ul>
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米館者アンケートの実施や、定例会等の自己点検により、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。</li> <li>・継続的な国宝・重要文化財の借用展示実績および展示室や収蔵庫の環境基準をクリアしたことで、公開承認施設の承認がなされ、利用者にとってより、貴重な資料に触れる機会が増すこととなった。</li> </ul>
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大のため一定の制約があったため、入館者数は52,838人となり、目標の83,000人を達成することができなかった。</li> </ul>
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージアムショップにおける尾土焼の販売など販売収入を確保していることや、展示物等の職員の自作、経費削減を行うなど、工夫を凝らした取組の努力が認められる。</li> </ul>
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示・収蔵環境の安定性及び継続的な国宝・重要文化財の借用展示実績が認められ、公開承認施設の承認を受け、今後の利用者サービスの向上(国宝・重要文化財の展示における事前申請の省略等)が望まれることは評価できる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のなか、閲覧室の利用の予約制を継続したが、利用者数は230件、またリファレンス対応189件と県民の要望に応えている。</li> <li>・館内において、児童・生徒の来館時のサービス向上における協議を行い、取組年間100校を超える見学を受け入れるなど、教育普及事業に対する取り組みが評価できる。</li> <li>・学芸員養成講座や市町村立施設の資料整理への支援・協力など裾野を広げる活動や博物館業務のノウハウを共有する取り組みを継続している。</li> <li>・職員が事業運営や職員活動に対する様々な意見を出し合い、サービス向上のための改善に取り組んでおり、優れた管理運営、事業の遂行がされたと認められる。</li> </ul>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの